ふくい 企業戦略

求職者の教育に注力

高度なＩＴ特化 訓練も

アイビーエージェント（福井）

「総合就職共育支援センター」と銘打ち、事業を展開するアイビーエージェント（本社福井市日之出4丁目）。人材派遣や職業紹介を手掛ける中で、特に求職者への教育に力を入れている。自社紹介で「教育」の代わりに「共育」という言葉を使っているのは、「われわれが一方的に教えるのではなく、皆さんとともに勉強したいという思いがあるから」と藤井孝社長(69)は話す。

求職者にはまず同社にスタッフとして登録してもらい、希望やスキル、経験などをキャリアカウンセラーら担当者が聞き取る。その上で本人に合うと思われる仕事をマッチングし、人材派遣や職業紹介につなげる。

スタッフが実際に企業で働き始めると、さらなるスキルアップが必要と感じるケースが出てくる。そういった場合に利用してもらうため、無料の講座をほぼ月1回のペースで開いている。内容はパソコンの活用、ビジネスマナーなど実践的で、仕事に差し支えないよう土曜日に実施している。

高度なＩＴ技術に特化して行われた職業訓練＝福井市のアイビーエージェント本社

就職支援の一環として国や県、市からの委託で職業訓練も行っている。簿記やＩＴ関連など主に3カ月のコースで、自分を売り込む武器を身に付けてもらう。

教育は会社設立から30年以上にわたり、一貫して重視してきた。「就職では一芸に秀でた人材が強い」という藤井社長の考えからだ。同社長は「経理など自分のやりたい仕事が決まっているなら、その道のプロを目指すことが就職につながる」とエールを送る。

今年初めて取り組んだのが、より高度なＩＴ技術に特化した職業訓練だ。独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構からの受託事業で、県内の20～50代の男女20人が2月から半年かけて学んだ。ウェブアプリケーションの作成技能、プログラミングの基礎、モノのインターネット（ＩｏＴ）の知識など、多岐にわたる内容だ。

同社は県内ＩＴ関連企業などでつくる県情報システム工業会に加盟しており、訓練カリキュラムには現場からの「こんな人材が欲しい」というニーズを取り入れた。ソフトウエア会社で活躍する技術者らの育成をはじめ、あらゆる職種にＩＴが導入されている現状を踏まえ、企業のＩＴ管理者を育てる目的もある。

若者の県外への流出傾向が続く中、県内で働く戦力の養成はいっそう役割が大きくなる。藤井社長は「これからも社会環境の変化に合わせた人材育成に取り組みたい」と意欲を示す。

（水口浩樹）

藤井　孝社長

1986年設立で、県内の人材派遣会社の草分け。職業紹介では年間50～60人程度の直接雇用に結び付けている。職業紹介、人材派遣ともに厚生労働省委託事業により優良事業者の認定を受けている。託児所事業も手掛け、スタッフ登録のために子連れで面談に訪れるケースに対応している。グループ会社のヒューマンケアはデイサービス、ホームヘルプサービス事業を担う。

号」地魚ＰＲ

今後の投

野村証券

福井

県内の個人

野村証券主催

個人投資家向

ミナー＝4

ーズホテル

資環境セミ

催の会社説

市内のホテル